

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公表番号】特表2014-516049(P2014-516049A)

【公表日】平成26年7月7日(2014.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2014-036

【出願番号】特願2014-512115(P2014-512115)

【国際特許分類】

C 0 7 K	14/47	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	14/47	Z N A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 K	47/34	

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

持続期間増強部分に共有結合によって連結しているポリペプチド成分を含むポリペプチドコンジュゲートであって、

ポリペプチド成分が、式(I)の残基1~37のアミノ酸配列:

X'-Xaa¹-Cys²-Asn³-Thr⁴-Ala⁵-Thr⁶-Cys⁷-Ala⁸-Thr⁹-Gln¹⁰-Arg¹¹-Leu¹²-Ala¹³-Asn¹⁴-Ph

$\text{e}^{15}\text{-Leu}^{16}\text{-Val}^{17}\text{-Xaa}^{18}\text{-Ser}^{19}\text{-Ser}^{20}\text{-Xaa}^{21}\text{-Asn}^{22}\text{-Phe}^{23}\text{-Xaa}^{24}\text{-Xaa}^{25}\text{-Xaa}^{26}\text{-Xaa}^{27}\text{-Xaa}^{28}\text{-Xaa}^{29}\text{-Thr}^{30}\text{-Xaa}^{31}\text{-Val}^{32}\text{-Gly}^{33}\text{-Xaa}^{34}\text{-Xaa}^{35}\text{-Thr}^{36}\text{-Tyr}^{37}\text{-X}$ (配列番号4) (1)

を含み、

ここで、式(Ⅰ)に示されるアミノ酸の最大25%が欠失されていてもよく、または異なるアミノ酸で置換されていてもよく、

X'は、水素、N末端キャップ基、持続期間増強部分との結合または持続期間増強部分とのリンカーであり、

Xaa¹は、Lysまたは結合であり、

Xaa^{1~8}は、Lys、CysまたはHisであり、

Xaa^{2~1}は、Lys、CysまたはAsnであり、

Xaa^{2~4}は、Lys、CysまたはGlyであり、

Xaa^{2~5}は、Lys、CysまたはProであり、

Xaa^{2~6}は、Lys、CysまたはIleであり、

Xaa^{2~7}は、Lys、CysまたはLeuであり、

Xaa^{2~8}は、Lys、CysまたはProであり、

Xaa^{2~9}は、Lys、CysまたはProであり、

Xaa^{3~1}は、Lys、CysまたはAsnであり、

Xaa^{3~4}は、Lys、CysまたはSerであり、

Xaa^{3~5}は、Lys、CysまたはAsnであり、

Xは、置換もしくは非置換アミノ、置換もしくは非置換アルキルアミノ、置換もしくは非置換ジアルキルアミノ、置換もしくは非置換シクロアルキルアミノ、置換もしくは非置換アリールアミノ、置換もしくは非置換アラルキルアミノ、置換もしくは非置換アルキルオキシ、置換もしくは非置換アリールオキシ、置換もしくは非置換アラルキルオキシ、ヒドロキシル、持続期間増強部分との結合または持続期間増強部分とのリンカーであり、

持続期間増強部分が、連結アミノ酸残基、X'またはXの側鎖と、適宜、リンカーを介して、共有結合によって連結される、ポリペプチドコンジュゲート。

【請求項2】

持続期間増強部分が、ポリエチレングリコールまたはその誘導体である、請求項1に記載のポリペプチドコンジュゲート。

【請求項3】

連結アミノ酸残基が、システインまたはリシンである、請求項1から2のいずれかに記載のポリペプチドコンジュゲート。

【請求項4】

ポリエチレングリコールが、直鎖、分岐またはコーム(comb)型である、請求項1から3のいずれかに記載のポリペプチドコンジュゲート。

【請求項5】

1つの持続期間増強部分を含む、請求項1から4のいずれかに記載のポリペプチドコンジュゲート。

【請求項6】

持続期間増強部分が、ポリペプチドのN末端アミノ酸残基と結合している、請求項1から5のいずれかに記載のポリペプチドコンジュゲート。

【請求項7】

持続期間増強部分が、ポリペプチドのC末端アミノ酸残基と結合している、請求項1から5のいずれかに記載のポリペプチドコンジュゲート。

【請求項8】

持続期間増強部分が、11、18、24~29、31、34または35位でアミノ酸の側鎖と結合している、請求項1から5のいずれかに記載のポリペプチドコンジュゲート。

【請求項9】

請求項1から8のいずれか一項に記載のポリペプチドコンジュゲートと、医薬上許容される賦形剤とを含む医薬組成物。

【請求項 10】

対象において疾患または障害を治療するための、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

疾患または障害が、摂食障害、インスリン抵抗性、肥満症、過体重、異常な食後高血糖、I型糖尿病、II型糖尿病、妊娠糖尿病、メタボリックシンドローム、ダンピング症候群、高血圧症、脂質異常症、心血管疾患、高脂血症、睡眠時無呼吸、癌、肺高血圧症、胆囊炎、変形性関節症または短腸症候群である、請求項 10 に記載の医薬組成物。